

# 時代を 読む

浜 矩子



他紙への言及で申し訳ないが、毎日新聞が「『たかがモリカケ』なの?』という特集をやっていた。(五月三十一日夕刊)

がたい。特に政府・与党側からこの種の言い方が出て来る。愉快だ。何たる不遜。何たる

森友はPPPをはるかにしのぐ。そもそもPPP自体を、なぜ、安倍政権がそれほど重大だと思つたのか、という問題

合つてはいけない行為だ。「モリカケ」を巡るような疑念が生じた時には、他の全て

に、改ざんや隠蔽の疑惑が発生している。この状態を是正する。このこと以上に、重大な何があるといふのか。

## 今最も重大なモリカケ

不心得。何たる見当違い。

はある。だが、PPPに関する

の案件はそっちのけで、解明

麻生太郎財務相が、「森友

の価値判断を抜きにしても、

と決着に総力を挙げる。それが、国会議員たるものの基本

の方がPPP(環太平洋連携

今、この時点では、「モリカケ」についてしっかり解明

中の基本行動のほゞである。PPPであろうが、憲法改

協定)より重大だと考えてい

し、しっかり決着をつけるこ

とにこそ、その他の何ものにも勝る重大さがある。

の(三月二十九日の参院財政金

融委員会)と言つたそうであ

正であろうが、「働き方改革」なるものであるが、そ

も、この記事が出る数日前、

る。この発言はとも面白

れらは、しよせん、政府・与

本欄のご担当者ともこの話で

い。多分、この人は自分が言

党的関心事だ。それらが、国

やりとりをした。

ったことの意味が分かつてい

民の関心事となるに値するテ

端的にいつて、筆者は「た

ものが言つていないかもしれ

ーマであるのか。そのことに

(同志社大教授)